

3 多度中学校区9年間の子どもの発達段階に 応じた家庭学習の状況（自主学習と学校の宿題の割合）

1・2年生 ⇒ 家庭学習において基本的な学習習慣を身につける

《こんな特徴があります》

- ・「早寝、早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」「整理整頓」「良い姿勢で座る」など基本的な生活習慣を身に付けることが、学習習慣にもつながります。
- ・1人で学習を進めるのが難しく、家庭の手助けや見守りが必要です。「やったね!」「がんばったね!」のほめ言葉が意欲を生み出します。
- ・色んな事に興味・関心を持ち何でも知りたがりです。
- ・先生との十分な連携が必要です。必要なことは相談をしましょう。

《家庭学習の状況》……………学校の宿題が中心

自主学習	学校の宿題
宿題以外にも少しやってみようとする	学校の宿題は忘れずに取り組む

3・4年生 ⇒ 自ら学習に向かおうとする学習習慣を身につける

《こんな特徴があります》

- ・自立心が芽生え、自分でやろうとするようになり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。
- ・学習内容が増え、「勉強が難しくなった」という戸惑いや個人差が出てくる頃です。がんばりや、伸びを認める助言や励ましが大切です。

《家庭学習の状況》……………宿題が中心だが徐々に自主学習もできるようになる

自主学習	学校の宿題
宿題以外にも自主的に取り組むことができる	学校の宿題は忘れずに取り組み確実にできる

5・6年生 ⇒ 計画し、自学・自習の学習習慣を身につける

《こんな特徴があります》

- ・自分を客観的に見つめたり、友達と自分を比べたりするようになります。学習では、得意な教科と苦手な教科を意識しはじめます。苦手克服に取り組ませたい時期です。
- ・先生や家族のアドバイスにより、学習に対する意欲や興味・関心が左右されます。

《家庭学習の状況》……………自主学習ができる

自主学習	学校の宿題
自分に必要なことやさらに深めたいことなど、自主学習の内容を考えて取り組む	学校の宿題は忘れず、丁寧に確実にできる

中学生 ⇒ 見通しをもち、具体的な計画を立て、自分の学習方法を確立させる

《こんな特徴があります》

- ・学習内容が専門的になります。部活動など生活面と学習面において時間の使い方に工夫が必要です。
- ・自分の進路を考え、目標を明確にし、計画的・継続的な学習を進めていきます。
- ・積極性が大切です。学習の進め方をどう改善すれば良いか先生に相談をしたり、学習に取り組む中で質問したい内容を教科担当の先生に自ら聞きにいたりしましょう。

《家庭学習の状況》……………自主学習は自分で計画的に進める

自主学習	各教科から出される学習課題を仕上げる
自分に必要だと思う自主学習が計画的にできる。自ら興味をもったことについて進んで調べ、自分なりの考えをまとめることができる	